

令和3年度 自己評価結果

開 智 幼稚園

1、本園の教育目標

あらゆる保育内容は子ども中心に考案し、「子ども中心主義」に徹する。そして、快い刺激を与える保育カリキュラムによる知能が発達してゆく過程において、子ども達自身が意欲的に飽くなき挑戦をし、喜びを知ることで明日も来たいと感じてくれるような保育の実践をする。そして、子ども達の成長の手助けとなるよう信頼関係を築きながら、共に楽しく生活していけるよう、配慮した幼児教育を目指す。

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

幼稚園教育要領を踏まえて、教育課程の内容を確認し、教職員の共通理解をはかり、教育の質を高めるとともに、保護者のニーズを確認し預かり保育の充実を図り、中、長期のビジョンを明確化し、幼稚園が今後担う役割について検討する。そして、懸案事項であった園舎の建設について具体的に事業計画を作成して、令和6年の完成に向けて進めていきたい。

3、評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
幼稚園の教育課程の編成、実施に関して教職員間の共通理解をはかる。	今年度も引き続き、幼稚園教育要領の理解を全教職員で推進し、それを現実の保育に添わせるように具体的な場面について話し合いを行っている。
幼稚園の状況を踏まえて中、長期的なビジョンと計画を策定する。	長期休業日の預かり保育のさらなる充実を図る。また、老朽化している園舎の建て替えについて、具体的計画を立て実行して行く。 新型コロナウイルスの感染が拡大しているため、行事や保育において「3密」の回避と飛沫防止を気にとめながら保育していくことが肝要である。
教育の質の向上のために、園内研修を充実させる。	園内での研修や意見交換により、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、手指の消毒やガイドラインを遵守する事など、保護者と協力出来たことでクラスターが発生する事なく終え良かった。今年度も、引続き成長の遅い子の支援を心理士の先生の巡回指導と助言をいただき実践してきた。
保護者のニーズの把握に努め、要望や苦情に適切な対応をはかる。	今年度も新型コロナウイルスの影響で例年行っていた座談会や保護者との懇談会が実施できなかった。その為、保護者の声が届きにくいこともあったが、参観日や運動会において保護者の思いを汲み取ることができたのは良かった。各担任においては、個別懇談で対応できていたように思う。

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

今年度も取り組むべき課題を具体的に示し、全教職員が共通に理解し、各自が自己評価を行ない、本園としての方針を明確にすることができた。そして、今年度も新型コロナウイルスの影響で学級閉鎖で休園するクラスなどあったが、幼稚園と保護者が一体となり幼稚園が作成したガイドラインを守っていくことに努めることができ良かったと思う。また、今年度も園児が適正に集まっているので、総合的な評価を得ていると思う。今後も、全職員で子ども達のためにより良い保育を目指し、引続き努力し頑張っていきたい。

5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
安全管理	不審者の対処や災害時の対処など、色々な情報が大阪府、交野市、大阪府警、交野消防署から、随時提供されるようになってきた。素早く対応できるように、教職員が常に危機管理の意識を持ち、日々の保育にあたるよう努める。また、来年度も新型コロナウイルスの影響は治まらず予防対策や「三密」に注意しながらの保育を実践していくことになると思われる。
特別支援教育	今年度も巡回指導対象園児が数名いるので、子育て支援課と連携をとりながら、専門家の指導や研究会に積極的に参加して、職員の特別支援教育に関する知識や指導技術の向上を図った。
園に対する保護者の満足度の把握	建学の精神に則った私学の独自性に充分配慮しつつ、子育て中の保護者が期待し望んでいる幼稚園とはどのような幼稚園であるのか把握し、そのニーズに応えられるよう、検討していきたい。また、保護者との懇談会や子育て座談会を通して、今後の幼稚園教育のありかたも検討し、保護者から指示される幼稚園を目指したい。

6、学校関係者の評価

今年度も交野市内の小学校との懇談において先生方から開智幼稚園卒園の生徒は授業に集中し意欲的に取り組んでいる子が多いと評価をいただいた。また、園見学にきた保護者の方々からも園児がしっかりと挨拶することができ活発に動いているので、とても気持ちが良いと評価していただくことがあった。日常の保育の積み重ねが実を結んでいると思われる。

7、財務状況

公認会計士により、適正に運営されていると認められている。

